

やまなしの福祉

特集

No.336
2017
7月号

スポーツを通じて広がる ボランティア活動



写真：ヴァンフォーレ甲府のボランティアスタッフ（上段左：入場口、上段右：チケット売り場）、山梨県障害者スポーツ大会の高校生ボランティア（下段左：立ち幅跳び整地、下段右：砲丸投げ計測）

- P2 スポーツを通じて広がるボランティア活動
- P8 シルバー作品展・シルバー俳句大会
- P4 ハンデを乗り越え熱戦を展開
- P11 福祉用具紹介
- P6 社協ボランティアセンター情報コーナー

スポーツを通じて広がる ボランティア活動

地域で活躍するスポーツボランティア

山梨県ボランティア・NPOセンター(運営・山梨県社会福祉協議会)は、市町村社会福祉協議会やボランティア推進機関等と連携して、ボランティア活動の支援・推進に取り組んでいます。

こうした中、2020年東京オリンピック・パラリンピックが間近となり、山梨県もキャンプ地になって来県者が多くなることが予測されています。これに伴い「スポーツ」や「観光」などの分野におけるボランティアへの期待が高まっています。

そこで今回は、皆さんに身近な「スポーツ」をテーマとして、学生から社会人まで、多くの方々にボランティアへの理解と参加を図りたいと考え、「スポーツボランティア」の活動について紹介します。山梨県ボランティア・NPOセンターでは、スポーツボランティアの育成を進めるとともに、こうした様々なボランティア活動をきっかけとして、地域のボランティア活動への参加につなげられるように取り組んでいきます。

スポーツボランティアの育成事業

①スポーツボランティア育成

(趣旨)2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、青少年などに対して現段階からスキルを高め、2020年にはリーダーとして活躍できるための人材育成を行います。

(対象者)中学生以上 (内容)スポーツボランティアの活動に必要な基礎知識等を学びます

②スポーツボランティアネットワーク構築

(趣旨)大学・スポーツボランティア推進団体と連携しながら、育成事業の参加者などを中心に実際の活動を通して、人と人、人と団体との繋がり(ネットワーク)を形成していきます。

(対象者)中学生以上 (内容)スポーツボランティアに取り組んでいる団体と連携した実技(準備から運営)等を行います

各事業の日程内容等の詳細については、現在調整中です。決まりましたら、やまなしNPO情報ネット等にてご案内する予定です。

【問い合わせ先】山梨県ボランティア・NPOセンター Tel:055-224-2941

～用語説明～

【ボランティア】

ボランティアとは、「自分から進んで人々と協力しながら、無償で行う社会や多くの人々の役に立つ活動」です。

【スポーツボランティア】

「スポーツという文化の発展のために金銭的報酬を期待することなく、自ら進んでスポーツ活動を支援する人(活動)のこと」(日本スポーツボランティア・アソシエーション2004)

【ボランティア4原則】

ボランティアには、活動をする上で大切な「4つの原則」があります。

- ①「自主性、主体性」…自分から進んで行動し、自分の判断で実行する活動
- ②「社会性」………社会や多くの人々のために取り組む活動
- ③「無償性」………報酬や地位、名誉を目的としない活動
- ④「創造性、先駆性」…社会の様々なニーズに対応して、新しいサービスや仕組みを作り上げていく活動

出典:やまなしNPO情報ネット「ボランティアの基本」より抜粋

試合の運営をボランティアが支える

ヴァンフォーレ甲府ボランティアスタッフ

「こんにちは」。サッカーJ1のヴァンフォーレ甲府(VF甲府)のホームゲームが開催される甲府市の山梨中銀スタジアムでは、ボランティアスタッフが観客を笑顔で迎えています。

ボランティアスタッフは、VF甲府の前身である甲府クラブの時代にサポーターが試合後のゴミ拾いをするなど、自主的に始まりました。現在、高校生から70代まで約100人がボランティア登録していて、ホームゲームには毎回50～60人が参加しています。

ボランティアの役割は、観客が入場する際のチケットのもぎり、指定席案内、会場案内、会員受け付け、観客の救護など多彩で、多くのボランティアによりホームゲームの運営を支えています。

ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブの奥水順雄社長は「運営の支えになっているのはもちろんですが、単なるマンパワーではなく、地域の中でVF甲府をPRしてくれるなど地域とクラブ、チームを結び付けてくれる大きな存在です」と感謝しています。



チケット売り場のボランティア

地域を盛り上げ、恩返しをしたい

始めたきっかけは？

ボランティアを始めて12年くらいになります。初めてスタジアムで見たガンバ大阪戦がすばらしい試合で感動しました。その後、新聞広告のボランティアスタッフ募集欄に昔の友人が出ていたのを見つけ、電話したら「楽しいよ」と言うので参加しました。

長い期間されていますね？

良い仲間にも恵まれました。VF甲府や地域を盛り上げたいという同じ方向を向いている人たちなので、すぐに打ち解けることができます。また、サッカーが好きという以上に社会や地域のためにお手伝いしたい、恩返しをしたいと気持ちでボランティアをしています。

心掛けていることは？

笑顔であいさつすることです。それも「天気が良くてよかったですね」とか、年配の方には「暑くなりそうなので気をつけてね」などと声を掛けます。イベントスタッフとは違う、親しみが持てる雰囲気をつくらうと心掛けています。それが地元のボランティアスタッフならではの思いです。

参加を考えている人にアドバイスを

やりたいという方はいると思います。きっかけが必要ではないでしょうか。思い切って参加していただき、体験してほしい。それがきっかけになって、続けていってもらえたらと思います。

ボランティアスタッフ
石原 好子さん(中央市、61歳)



クラブの価値を高めてくれる存在

ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ 競技運営部運営担当 植松史敏さん

ボランティアの皆さんは試合運営の大きな力となっているのはもちろんですが、それ以上に地域におけるクラブの価値を高めてくれる存在になっています。お客さんを笑顔で迎えてくれることで、お客さんとの交流が生まれて「またあのおじいちゃんに会いたい」「また試合に来たい」と思っただけのこと

につながります。

ボランティアの皆さんはVF甲府が地域にあることに誇りを持っています。ともにクラブ、チームを支える仲間です。これからも、さらに多くの若い人や新しい人たちにボランティアに参加していただけるようクラブとしても努力していきたいと思っています。



ハンデを乗り越え 熱戦を展開

平成29年度山梨県障害者スポーツ大会



選手宣誓

平成29年度山梨県障害者スポーツ大会が4月30日、5月7日、同14日の3日間にわたって甲府市の緑が丘スポーツ公園、小瀬スポーツ公園などを会場に開催され、選手たちは熱い戦いを繰り広げました。

障害を克服してたくましく生きる

本大会はスポーツを通じて、障害者が機能の回復と体力の維持増強を図り、自らの障害を克服して、明るい勇気と希望を持って、たくましく生きていく能力を育てるとともに、社会の理解と認識を深めることを目的に開催しています。

17回目となる今大会は「1位をめざすよりベストをつくせ、それはかならず結果につながる!」を大会スローガンに、10月に愛媛県で開催される「第17回全国障害者スポーツ大会」の選考会を兼ねて開催しました。

陸上や水泳などで熱戦を展開

大会では4月30日に卓球、水泳、5月7日にボウリング、サウンドテーブルテニス、同14日に陸上、フライングディスクの各競技を開催しました。このうち、山梨中銀スタジアムで行われた陸上競技とフライングディスクでは、約330人の選手が参加して熱戦を展開しました。

砲丸投げに出場した芦澤文久さん(51歳)は、これまで県代表として全国大会に出場して2位(銀メダル)と3位(銅メダル)の成績を何度も収めています。「まだ金(優勝)がないので、なんとか取りたいですね」と意欲を語りました。



開会式



砲丸投げ



フライングディスク



立ち幅跳び

車いすマラソン大会も開催

第29回山梨県障害者車いすマラソン大会(山梨県障害者スポーツ協会主催)も5月14日、小瀬スポーツ公園ジョギングコースで開かれ、8人の選手が参加して熱戦を展開しました。優勝した塚原心太郎君(常永小5年生)は「車いすテニスをしています。マラソン大会は初めてでしたが、思いっきり走ることができて楽しかった」と笑顔を見せていました。



車いすマラソン大会

選手の育成強化をバックアップ

山梨県障害者スポーツ協会の山下正人会長は「障害者がスポーツを通じて社会参加することが大切です」と呼びかけています。また、山梨陸上競技協会の矢崎文博常務理事は「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、協会として選手たちをバックアップしていきます。この大会で優秀な成績を収めた選手を対象に全国大会を目指して夏には強化練習を行い、さらには東京パラリンピックに出場するような選手を育てていきたい」と抱負を語っています。



少年男子50m競争

高校生ボランティアが大会支える

山梨県障害者スポーツ大会には、東海大甲府、甲斐清和の高校生ボランティアが運営を支えています。開会式のプラカード、選手の誘導、さらに競技補助員などを務めました。

砲丸投げの記録計測などを担当した東海大甲府高校3年で同高陸上競技部主将の中澤幹さんは「ハンデを乗り越えて一生懸命にスポーツに取り組む姿を見ることは刺激になります。ぼくたちも負けずにがんばろうと思います」と力強く話していました。

山梨県障害者スポーツ協会の山下正人会長は「高校生ボランティアの力は、大会をスムーズに運営するためにはなくてはならない大きな力になっています」と、「高校生パワー」に感謝しています。



ボランティアで計測をする中澤幹さん



競技補助の高校生ボランティア

障害者用スポーツ用具を貸し出します

山梨県障害者スポーツ協会では、障害者用のスポーツ用具の貸し出しを行っています。ご希望の方は、お気軽にご相談ください。

主な競技

- グラウンドゴルフ
- フライングディスク ○盲人用卓球台
- ボッチャ ○車椅子スラローム
- ジャベリックスロー

お問い合わせ

山梨県障害者スポーツ協会
〒400-0005
甲府市北新1-2-12 山梨県福祉プラザ1階
Tel:055-252-0100 Fax:055-251-3344



蕪崎市ボランティアセンターでは安心して暮らせる地域を目指し、ボランティアの育成や教育、その他福祉活動の推進の支援を行っています。

Vol.7

社協ボランティアセンター 情報コーナー

Information about a volunteer

蕪崎市ボランティアセンター

《ボランティア相談》

ボランティア活動に興味がある方や実際に活動をしている方の支援を行い、推進します。またボランティア活動を必要とする方からの相談を受けて、活動者とのマッチングを行います。

《ボランティア育成》

ボランティア講座を開催し、ニーズにマッチしたボランティアを育成します。また、既存のボランティア団体へ向けた講座を実施し、継続した知識の習得を支援します。

《ボランティアグループへの支援と協力》

蕪崎市ボランティアの会、蕪崎市ボランティア交流会への支援を実施する他、ボランティア市民活動グループへの協力を行います。



蕪崎市では若い力も大活躍！花火大会で出たごみもあつという間にきれいになりました。



ボランティアが気軽に集える場所が出来ました。



ボランティア情報の他、市内のボランティア団体の作品なども掲示しています。

《福祉教育の推進》

夏休み学生ボランティア体験教室を実施し、県内全域の学生を市のイベントや市内の事業所にて受け入れ、福祉教育を推進します。

《広報活動》

年に4回、広報誌「社協だより&ボランティアだより」を発行し、ボランティア活動を知っていただく他、HPやボランティアボードを設置し、情報を広報します。

蕪崎市社会福祉協議会

業務時間：月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時15分

<http://www.shakyo.or.jp/hp/840/>

住所：蕪崎市大草町若尾1680番地
蕪崎市老人福祉センター内

TEL：0551-22-6944

FAX：0551-22-6980

講座のご案内

○介護実習普及センター 高齢者の介護をしている家族向け講座

講座名	内容	定員	開催日時	開催場所	対象者
自立を促すリハビリテーション	 <p>様々なテーマについて、詳しい介護の知識や技術について学びます。</p>	30名	7月5日(水) 10:00~16:00	1階 山梨県福祉プラザ 介護実習室	一般県民
介護者の健康管理(ヨガ他)		30名	7月20日(木) 13:00~16:00		
終末期のお世話		30名	8月25日(金) 13:30~15:30		
お年寄りに起こりやすい病気の予防と対応		30名	9月6日(水) 10:00~16:00		
お年寄りの排泄の問題とそのお世話		30名	9月15日(金) 10:00~16:00		
認知症サポーター養成講座		30名	9月25日(月) 9:30~12:00		
介護を支える保健医療福祉サービス		30名	7月21日(金) 10:00~15:00		
お年寄りの食事のお世話	 <p>1日目 お年寄りの食事の特徴 2日目 栄養を補う副菜の調理 3日目 飲み込みの障害に合わせた調理の実際 *1日目のみの参加も可能 *1日当たり500円が材料費として必要です。</p>	20名	9月12日(火) 9月13日(水) 9月20日(水) 9:00~14:00	1階 山梨県福祉プラザ 調理実習室	

※都合により、やむをえず日時を変更することがありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ・お申し込み先】 介護実習普及センター Tel:055-254-8680

○介護記録の書き方(基礎編・応用編)

介護保険制度が始まって16年が経ち「記録」の重要性はさらに高まり、介護職の行う介護行為は記録によって評価されるといっても過言ではありません。しかし、日々の業務に追われ、記録について考えたり振り返ったりする機会が持てないのが現状ではないでしょうか。また記録に対して、苦手意識を持っている方も少なくないと思います。

本研修は「基礎編」と「応用編」の2コースで構成し「基礎編」では、基本的な記録の書き方や自身の記録の傾向などを講義と演習形式で学びます。介護の初心者、記録が苦手な方が対象(職務経験2年未満程度)となります。

「応用編」では、介護保険制度における記録の必要性や計画書に基づいた記録の仕方、記録の指導方法などを学びます。職場において、実習生等の指導者やリーダーが対象(職務経験5年以上程度)となります。大勢の方々への参加をお待ちしています。

※県社協ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp>)に掲載しています。

【昨年度の受講者のアンケートより】

- | | |
|--------|--|
| 基礎編受講者 | <ul style="list-style-type: none"> ・記録の意味・大切さがよく分かった。 ・職場で注意されても分からなかったことが、分かるようになった。 ・敬語・丁寧語・句読点の使い方が分かった。 ・業務で使うべき内容であった。すぐに実践で使えるものだったので、学んだ事を明日から活かしていきたい。 |
| 応用編受講者 | <ul style="list-style-type: none"> ・記録の必要性・効果を再確認でき、記録の書き方を見直すことができた。 ・家族の方が見る事も考え、ポジティブな書き方をする必要がある事を学んだ。 ・介護記録について、知らないことがまだまだたくさんあった。 |

【実施日】 9月26日(火)、10月26日(木)、11月27日(月)

【時間】 10:00~16:00

【会場】 山梨県福祉プラザ4階大ホール

【お問い合わせ】 福祉人材センター Tel:055-254-8654

山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大



山梨県シルバー作品展 優秀賞



日本画「柿と山茶花」
佐藤八重子(91歳)



日本画「阿弥陀三尊」
若杉富士子(89歳)



洋画「仙水峠(南アルプス)」
萩原宏(77歳)



洋画「峡北の秋景色」
清水教昭(92歳)



彫刻「ツバキ」
土橋昭(88歳)



彫刻「鷹」
渡辺信玄(83歳)



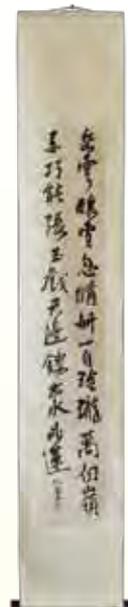
工芸「ステンドグラスランプ」
町田祐一(80歳)



工芸「鯉」
丹後幸子(92歳)



書「破沙盆」 三枝満佐美(78歳)



書「漢詩」 望月紀枝(77歳)



写真「古民家と氷のオブジェ」
石川利政(92歳)



写真「夕焼けの富士」
渡辺力(78歳)

各部門の優秀賞【各部門2点、計12点】
(敬称略、年齢は平成30年4月1日現在の満年齢)



日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に、241点の作品が集まりました。

各部門で優秀賞に選ばれた作品は、9月に開催される「第30回全国健康福祉祭あきた大会」の美術展に山梨県代表作品として出品されます。

山梨県社会福祉協議会は、5月19日から5月21日までの3日間、「いきいき山梨ねりんピック2017山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大会」を甲府・山梨県立図書館1階イベントスペースで開催しました。

会 作品紹介

山梨県シルバー俳句大会 特選句



山田省吾 選

生まれ来る 命と潜る 茅の輪かな

上野原市 天野昭正 七六歳

闇の夜を 切り裂く如し 恋の猫

甲州市 池田孝子 八六歳

富士冴ゆる 夜勤帰りの 薄明に

富士吉田市 勝俣章 八六歳

紅葉川 水底を雲 走りけり

富士河口湖町 堀内ミツエ 七〇歳

かばかりの 農捨てきれず 犬ふぐり

市川三郷町 河西澄江 八八歳



上田正久日 選

百日の 行僧見舞 寒椿

身延町 望月あさ子 九〇歳

湯豆腐や 寄り添ふ夕餉 はじまれり

富士川町 有泉政弘 七六歳

初日記 この一年を 載せてゆく

身延町 上田多香子 八三歳

学ぶこと 生涯やめず 沙羅の花

北杜市 小泉寛子 七〇歳

燃え上がる 地域の絆 どんと焼

甲府市 斉藤由美子 七七歳



加藤勝 選

初稽古おもいつきり石段 かけ上る

身延町 池田玲子 七八歳

凧のぼり 老いに歯止めの 無き御空

都留市 高部志づの 八三歳

千万の 味方の様につくしんぼ

富士吉田市 渡辺武人 七三歳

早梅に 声のあつまる 日和かな

笛吹市 鈴木ふみよ 八二歳

山畑の 煙ののぼる 冬の昼

上野原市 長田重子 七五歳

敬称略、年齢は平成29年5月19日現在

同時に開催した「シルバー俳句大会」には、県内60歳以上の人から、746句の作品が集まり、4月20日に3人の選者(山田省吾さん、上田正久日さん、加藤勝さん)により審査会を行い、特選15句、秀作30句、佳作45句が決定しました。



シミュレーションゲームを通じて福祉・介護業界の魅力を伝える

THE Six SENSE 開催

福祉・介護の仕事は、世間一般では3Kをはじめとして、ネガティブなイメージが先行しています。そこで、将来の担い手である若者(小・中・高校生)を中心に、福祉・介護のしごとの魅力を知ってもらうために「自分の未来と福祉の仕事」を再発見するシミュレーションゲーム「THE Six SENSE」を今年も開催いたします。このゲームは参加者ご自身が主人公となります。二人一組で、車イスとルーレットが入ったタブレットを使って人生マップを進み、それぞれのブースで実際に介護技術や高齢者等の疑似体験をしながらゴールを目指していきます。福祉・介護の世界が体験できるこのゲームを通じて、ご自身の未来をイメージしていただき、福祉に対する学びと発見を持ち帰っていただきたいと思います。

全てのブース体験終了後は、ご褒美としてアーティストのライブが待っています。

参加は無料です。お気軽にご参加ください。

日時 平成29年7月30日(日)
10:00~17:00 (16:15よりアーティストライブ)

会場 山梨県立図書館(甲府駅北口)

内容 図書館のホールや会議室を使った体験型イベント



福祉の就職総合フェア in やまなし夏

を開催します!

日時 8月9日(水) 13:00~16:00 (受付12:00~15:30)

会場 アピオ甲府 (中巨摩郡昭和町西条3600)

参加費無料
入退場自由

県内で唯一の福祉・介護・保育専門の就職相談会です。福祉の職場へ就労を希望する方や福祉の仕事に関心のある方など、どなたでも参加いただけます。求職者は事前の登録や申し込みは必要ありません。

求職者にとっては、具体的な福祉の仕事の内容や雇用条件、働く環境など、様々な疑問に答えてもらえるチャンスです。

また、福祉関係の資格取得方法や、福祉全般に関する相談に応じるコーナーなど、相談コーナーも充実しています。福祉人材センターのコーナーでは、インターネットサービス「福祉のお仕事」への登録方法や、福祉の仕事が体験できる「職場体験」の申し込みも受け付けています。

*合同面接(求人事業所)は、インターネット求人システム「福祉のお仕事」に事業所登録している施設等で、事前の参加申込により決定された事業所となります。

- アクセス**
- ★車でお越しの方は…
中央自動車道甲府昭和ICから5分
 - ★無料専用シャトルバス…
<JR甲府駅南口発>12:00と13:00発
<アピオ甲府発>15:00と16:00発

お問い合わせ
福祉人材センター ☎055-254-8654

参加事業所は、本会ホームページ
<http://www.y-fukushi.or.jp> に7月上旬頃より随時掲載予定です。



Goods

福祉用具紹介 あると便利なグッズたち

居宅内の歩行動線を構築

伸縮つながるくん

■ 価格 29,500円(税別)



据置型手すり「たちあっぷ®」に取り付けることで、あがりかまち等の段差や居宅内の歩行動線を構築します。長さ64～95cmまで無段階で調整可能ですので、使用場所に最適な長さで取り付けることができます。上下45度まで、また左右も可動範囲内で調整ができるので、移動したい方向に手すりの設置が可能です。



Check Point

ベッドや布団などの起き上がりからトイレや廊下への動線を確認したい時、玄関から上がった先の手すりまでの動線を確認したい時などに使用します。

立ち上がり、移乗、座位保持をサポート

かいじょくん

■ 価格 14,000円(税別)

こちらも、据置型手すり「たちあっぷ®」に取り付けることで、ベッドサイドでの立ち上がり、移乗、座位保持をサポートします。45度ずつ角度調整が可能になっているので、設置する場所や使用者に合わせた設定ができます。取り付けた「かいじょくん」の下は、支柱なども無く、足元が邪魔になりません。



Check Point

ベッドから立ち上がり、歩き出す動線を確認したい時、ベッドからポータブルトイレに移乗する時に使用します。

■ 優遇措置の内容

「伸縮つながるくん」「かいじょくん」ともに据置型手すり「たちあっぷ®」とセットでレンタルすることによって、介護保険の福祉用具貸与対象品となります。「伸縮つながるくん」単体、「かいじょくん」単体でのレンタルは、対象となりません。

「要支援1・2」「要介護1～5」の認定を受けている方で、在宅サービスを利用する方は、レンタル料の1割*でレンタルできます。

*平成27年4月の介護保険法の改正により、平成27年8月1日から一定以上の所得がある場合、自己負担が現行の1割から2割に変更となりました。詳しくはお住まいの市町村にご確認ください。



赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願い

国民の善意で民間社会福祉を支える共同募金運動が、毎年10月1日から12月31日までの3か月間、全国一斉に展開されます。

県社協では、毎年運動の一環として、街頭募金を実施しており、毎年約60施設・団体の方にご協力をいただいています。本年度も下記のとおり街頭募金活動を実施しますので、ご協力いただける方は県社協にご連絡ください。

【街頭募金活動】

平成29年10月2日(月)・3日(火)・4日(水)の計3日間

ご連絡先 山梨県社会福祉協議会総務企画課 ☎055-254-8610

地域別小規模就職相談会を開催します

地域を限定して仕事を探したい、自宅に近い所で、空いている時間を活かして仕事をしたい、あるいは、福祉の仕事に関心はあるけれど、まだ具体的な就職活動はしていないという方々に、求人事業所の人事担当者と、直接情報交換していただく場を設けます。ぜひこの機会にご参加ください。参加費、事前申し込みは不要です。

対象エリア 峡北(この地域の求人)

7月25日(火) 13:30~15:30

山梨県福祉プラザ4階会議室(甲府市北新1-2-12) 郡内(この地域の求人)

9月21日(木) 13:30~15:30

富士吉田市民会館(富士吉田市緑ヶ丘2-5-23)

※今後の開催予定

・峡中 10月 ・峡東 11月 ・峡南・南アルプス 1月 ・峡中 2月

※参加事業所は、各開催日1週間前より山梨県

社会福祉協議会ホームページに掲載します。

http://www.y-fukushi.or.jp

※詳細についてはお問い合わせください。

お問合せ先 福祉人材センター ☎055-254-8654



福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面談・相談会を行います。

7月の予定 5日(水) 介護老人保健施設 甲州ケア・ホーム他
12日(水) 児童養護施設 くずはの森
19日(水) ショートステイ コスモ・アビターレ他
26日(水) 愛の家グループホーム

※平成30年3月末まで、毎週水曜日に開催します。

時間 14:00~16:00

会場 山梨県福祉プラザ4階
福祉人材センター

お問合せ先 福祉人材センター
☎055-254-8654



家計相談会を開催します

生活には何かとお金がかかり、急な出費や大きなライフイベントも避けられません。備えあれば憂いなし、専門家と一緒に収入と支出のバランスを見直し、家計を「見える化」してみませんか？

下記町村主催の各種相談会の場をお借りして、ファイナンシャルプランナー・三澤恭子先生による家計相談会を開催します。ぜひお気軽にご参加ください。

対象者 下記実施町村にお住まいの方

申し込み 不要。先着順(4名程度) 費用 無料

その他 通帳やローン返済計画書など収支のわかるものをお持ちください

対象町村	開催日	時間	場所
富士川町	8/29	10:00~12:00	富士川町役場東別館内 産業振興課(富士川町青柳338-8)
昭和町	10/13	10:00~12:00	昭和町役場別館2階会議室(昭和町押越542-2)
市川三郷町	11/9	10:00~12:00	市川三郷町役場三珠庁舎1階相談室(市川三郷町上野2714-2)
小菅村	11/16	10:00~12:00	小菅村役場2階会議室(小菅村4698)
丹波山村	12/4	14:00~16:00	丹波小学校 体育館下和室(丹波山村2777)
身延町	9/8	13:00~15:00	中富すこやかセンター(身延町切石117-1)
鳴沢村	12/20	13:30~15:30	鳴沢村総合センター(鳴沢村鳴沢1451-21)
忍野村	1/16	14:00~16:00	忍野村健康福祉センター 相談室(忍野村忍草1445-1)

お問合せ先 山梨県社会福祉協議会生活支援課 ☎055-254-8610

職場体験事業のご案内

山梨県福祉人材センターでは、福祉・介護の仕事に関心のある方、または資格を有しながら福祉・介護分野に就業していない方々に対して、福祉の職場を体験して頂く機会を提供する「職場体験事業」を実施しています。

詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp/>



広報誌「やまなしの福祉」をパソコンやタブレットで閲覧

広報誌「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

7月号は以下の通りです。

7月号のID
yfukushi336

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

幼稚園 福祉施設等でも活躍！
ウイルスによる食中毒の対策に！
柿渋パワー製剤
アルタンノロエース
2012.9 特許取得
食品や調理器具をはじめ、施設内の人が手をふれる場所全ての衛生管理に

アルタン 検索

現場の声をカタチに...いつもアルタンから。
アルタン株式会社
東京都大田区東糀谷 3-11-10 TEL 03-3743-5705

広島大学との共同研究で開発されたエタノール製剤・食品添加物です。